

2020(令和2)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
大山田地域部会 議事概要

- 開催日時 2020(令和2)年10月15日(木)
午前10時～12時
- 開催場所 大山田農村環境改善センター 2階・大会議室
- 出席者 (敬称略)

【委員】

村上 靖尚(阿波地域住民自治協議会会長) 番條 克治(布引地域住民自治協議会会長)、奥 千史(山田地域住民自治協議会会長)、井上 一夫(阿波地区区長会会長) 村田 周司(山田地区区長会会長)、福平 悟(大山田地区民生委員児童委員協議会会長)、福地 申大(伊賀市障害者福祉連盟大山田支部支部長)、生間 慎二郎(伊賀市社会福祉協議会中部圏域課課長)、橋本 敏明(伊賀市商工会大山田支所支部長)

【事務局】

大山田支所 支所長 狩野 守正、振興課長 奥井 直司、
主査 恵川 裕行
交通政策課 課長 吉岡 徹也、
主幹 坂森 荘平、主査 吉福 将徳

- 傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会

大山田支所 狩野支所長挨拶

2. 協議事項

- ・(仮称)伊賀市地域公共交通計画の策定について

事務局から資料「伊賀市地域公共交通計画 本編(案)」に基づき説明

【質疑応答】

部委員	支所がなくなって本庁まで行くとなると、直通の便がない。計画を策定した後、予測できない事態が起きた際、計画の変更はできるのか。
事務局	支所がなくなっても、生活拠点が変わらなければ今までどおりのかたちでと考えています。計画は策定して3年経った時点で、中間評価を行います。施策の中で変更等、必要であれば行っていきます。持続可能なサービスというところは大事だと思うので、計画の部分

	は変えずに、事業で対応と考えています。
部委員	資料の27ページに地域拠点を位置付けてある。支所廃止との絡みはどうか。
事務局	支所がなくなる等あっても実情が変わらなければネットワークを変えることは考えていません。ただ、実務がうまくいかないのであれば変更を考えていくことになると思います。
部委員	都市マスタープランが策定されてから、この計画を策定すべきではないのか。
事務局	総合計画など他の関連計画もいくつかあり、なかなかすべての計画と策定期間を合わせることは難しいところがあります。空白期間を置かずにこの計画を策定する方針で臨んでいます。
部委員	大山田の行政バスを週に何回か本庁へまわすとかできないのか。
事務局	そういった移動が必要になるのか、また、どこへ移動するかがまだ見えていない状況です。本庁直行便となりますと、公共交通ではないと思います。 いろいろな方法はあると思いますので、市役所内で横の連携を取りながら話をしてみたいと思います。
部委員	43ページに「施設と連携したバス待合環境の改善」とあるが、バス停に雨除けがないところがある。簡単なものでもなんとかできないのか。伊賀鉄道に多額の支援をしているのだから、なんとかしてほしい。
事務局	この地域だけ付ける、付けないとなりますと公平性の面で難しいところがあります。市としてするのであれば、全部のところを整備するとなってまいります。 また、伊賀鉄道に多額の支援と言われますが、バスにも同等の金額の支援をしていることをご了知いただきたいと思います。
部委員	若い人の意見を聞いてほしい。
事務局	今回の計画策定に際し、高校生アンケートを実施しています。実際何に困っているか聞かせてもらうとともに、皆で何が一緒にできるか考えていけるような計画にしたいと考えています。

【承認】

3. その他

- ・バス路線別令和元年度実績およびコロナ禍での安全な公共交通利用について、事務局から資料に基づき説明。

【質疑応答】 なし

(終 了)